

感染症情報 6月12日～18日

府下小児科191医療機関(堺市19)から

①ヘルパンギーナ	1,251例(堺市 149例)
②感染性胃腸炎	839例(堺市 75例)
③RSウイルス感染症	516例(堺市 67例)
④溶連菌感染症	514例(堺市 55例)
⑤咽頭結膜熱	168例(堺市 11例)

府下291医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 190例(堺市 18例)

前週比6.3%増の3,511件の報告数であった。ヘルパンギーナが府下で40%増、堺市で131例→149例であった。定点あたりは府下が4.66→6.55で、堺市は6.89→7.84。大阪府も2014年以来、警報レベル基準値6を超えた。感染性胃腸炎が府下で前週比7%減、堺市で前週82例→今回75例であった。RSウイルス感染症が府下で17%減、堺市で77例→67例であった。定点あたり大阪府が3.25→2.70、堺市が4.05→3.53。溶連菌感染症が府下が1%減、堺市で前週58例→今回55例。咽頭結膜熱が府下で1%減、堺市で前回14例→今回11例であった。

インフルエンザが府下で前週202例→190例で6%減、堺市で前週22例→今回18例であった。定点あたり大阪府は0.70→0.65、堺市で0.76→0.62であった。

府下291医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,324例(堺市 179例)
大阪府定点 4.55 堺市定点 6.19

0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
42	88	96	295	124	122	134	157	96	91	79	1324

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週1,256例→今回1,324例で5%増、定点あたり4.33→4.55に、堺市は前週152例→今回179例で18%増、定点あたり5.24→6.19であった。5類感染症に移行後、5週連続で増加している。

麻疹や風疹の報告はなかった。